

科目コード	記号	科 目 名		
2419	CS54	物質工学ゼミ: Seminar on Chem. and Biol. Engineering		
教 員 名		物質工学科各教員		
学年	単位・時間	必修・選択	授業形態	単位種別
4C	2・180分	必修	演習・後期	履修単位
授業概要	各教員に配属し、与えられた課題について調査研究する能力を養う。具体的には、与えられた研究分野の文献等の調査を行い、調査結果を解析して当該分野の現状を把握して整理し、報告書を作成する。卒業研究での取り組み課題に関連する調査研究へ発展させる。			
到達目標		評価方法		配分
(1) 与えられた課題が的確に理解できる。		(1) 課題の理解度により評価する。		20%
(2) 文献を調査し、調査結果を整理して、報告書を作成することができる。		(2) 調査結果の報告書で評価する。		50%
(3) 調査成果の資料を作成して発表することができる。		(3) 発表会によって評価する。		30%
学習・教育目標		(A)④	JABEE基準1(1)	(d)-(2)-b)
後 期				
授 業 計 画	項 目	内 容		
	担当教官	調査研究の課題		
	柿並 孝明	(1) 有機化合物の分析法 (2) 有機化合物の合成法 (3) 金属触媒を用いた合成法		
	村上 定瞭	(1) 廃棄物の性状と排出量 (2) 有機性廃棄物の処理技術 (3) 有機性廃棄物の資源化技術		
	品川恵美子	(1) 微生物に関すること (2) 酵素に関すること (3) 代謝に関すること		
	福地 賢治	(1) 微量有機化合物水溶液の分析技術 (2) 排水の浄化技術 (3) 気液平衡測定と応用技術		
	竹内 正美	(1) 廃棄物の性状と排出量 (2) 有機性廃棄物の処理技術 (3) 有機性廃棄物の資源化技術		
	小倉 薫	(1) 溶液物性および構造の測定法 (2) 有機試薬の設計法と合成法 (3) 新しい電気化学法		
	西村 基弘	(1) 有用微生物の探索法 (2) 酵素の単離・精製法 (3) 遺伝子組み換え技術		
	山崎 博人	(1) 機能性高分子の合成法 (2) 高分子の物性評価法 (3) 生体触媒の固定化技術		
	久富木志郎	(1) 固体物性の測定法 (2) 固体材料の合成法 (3) ガラス材料の機能と合成法		
	中野陽一	(1) 環境水の測定法 (2) 干潟生態系(マクロベントス)測定法 (3) 人工干潟、藻場造成技術		
	新任			
関連科目		物質工学実験、生物工学実験		
教科書				
参考書				
授業評価・理解度		最終回に授業評価アンケートを行う。		
副担当教員				
備考		配属先の選択について、事前に説明を行う。		